

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスもりのひろば幸町園			
○保護者評価実施期間	2026年2月27日～2026年3月6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2026年2月27日～2026年3月3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や発達段階に応じた支援について	看護師、保育士、理学療法士、児童指導員など、それぞれの専門性を活かしながら、お子さま一人ひとりの特性や発達段階、体調面や運動面に配慮した支援を行っています。 また、お子さまたちが安心して通所できる居場所となるよう、職員同士で情報共有や支援の振り返りを行いながら、支援の質の向上に努めています。	お子さま一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援をより充実させるため、職員間での情報共有や研修を通して専門性の向上に努めています。 また、個別支援計画に基づく支援の振り返りを行いながら、より効果的な支援につなげるとともに、保護者との情報共有を大切にし、お子さまの成長や日々の様子について連携の充実を図っていきます。
2	活動内容について	お子さまたちが楽しく活動に参加できるよう、一人ひとりの特性や発達段階に応じて、音楽遊び、感覚遊び、ものづくり、クッキング、外遊び、リハビリなど、さまざまな活動を工夫しています。 また、季節に合わせた活動や行事も取り入れながら、楽しみの中で心身の成長につながるよう支援しています。	お子さまたちが楽しく活動に参加できるよう、今後も一人ひとりの特性や発達段階に応じた活動内容の工夫を行うとともに、季節に合わせた活動や行事を取り入れながら、活動の充実にも努めています。 また、お子さまたちの興味や関心、意思表示を大切にしながら、より主体的に参加できる活動につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故・災害・感染症等に備えた体制整備と訓練について	定期的に避難訓練を行い、お便りや広報誌でも共有していますが、取組の内容が保護者の皆さまに十分分かりやすく伝わっていない面があると考えています。 また、保護者を含めた引き渡し訓練等については実施できておらず、今後の検討が必要です。	防災・安全対策(事故・災害・感染症等)について、訓練の実施やマニュアルの見直しを継続し、現状に即した活用しやすい内容へ整えています。 また、取組内容を保護者の皆さまに分かりやすく共有するとともに、保護者を含めた引き渡し訓練等についても検討し、非常時により安心して対応できる体制づくりを進めていきます。
2	家族向けの情報発信・家族支援の充実について	日々の相談対応や情報共有は行っていますが、保護者向けの学びの機会や情報発信、きょうだい支援を含めた家族全体への支援については、まだ十分とはいえません。	保護者の皆さまへの情報提供や学びの機会の充実を図るとともに、保護者同士の交流や家族全体への支援についても、ニーズを踏まえて検討していきます。 今後は、保護者会や面談、情報提供の機会を通して、安心して子育てができるよう支援の充実につなげていきます。
3	地域との交流・地域資源の活用について	感染症予防の観点から、今年度も地域との交流は控えていました。 また、お子さま一人ひとりの体調や状態、ご家族の意向にも配慮が必要なため、地域との関わりや地域資源の活用はまだ限定的な状況です。	感染症への配慮や保護者のご意向を踏まえながら、地域との関わりや地域資源の活用について検討していきます。 また、お子さまたちが安心して参加できるよう、一人ひとりの特性や体調に応じた交流の機会を検討していきます。